

令和4年度 年 報



2023

岐阜県文化財保護センター

目 次

1	センターの概要	1
2	事業実績	2
3	発掘作業	3
4	整理等作業	5
5	発掘調査報告書	7
6	岐阜県古代・中世寺院跡総合調査	7
7	普及活用事業	8
8	研究・支援事業	10
9	普及活用事業の記録	10

1 センターの概要

名称

岐阜県文化財保護センター

設置場所

岐阜県文化財保護センター
同 飛騨駐在事務所
同 飛騨国府事務所

岐阜市三田洞東 1-26-1
高山市丹生川町坊方 2109
高山市国府町名張字峠 1425-1

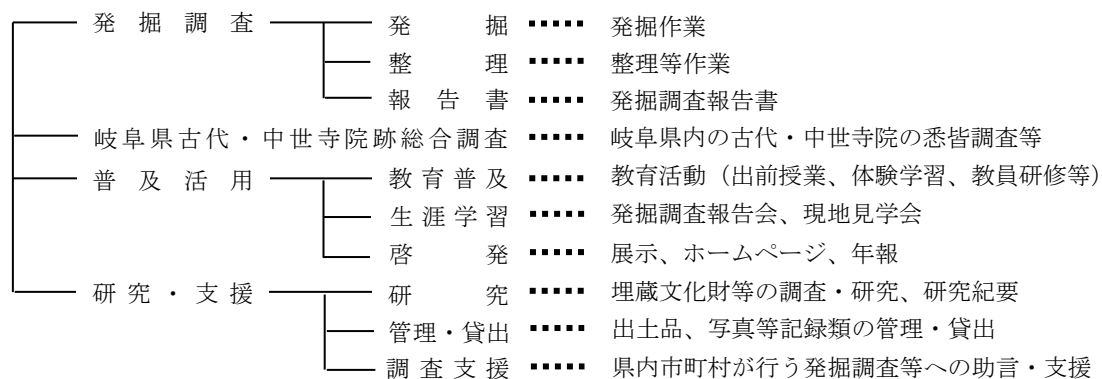
設置根拠

岐阜県立学校以外の教育機関の設置に関する条例（昭和36年条例第4号）

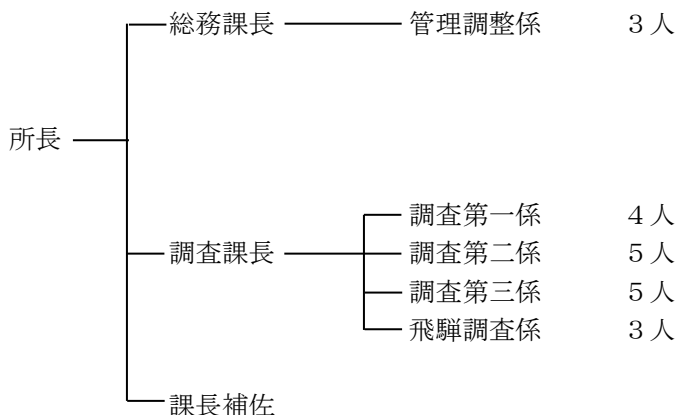
所掌事務

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究に関すること
- (2) 埋蔵文化財に係る開発事業の調整に関すること
- (3) 発掘調査技術の指導及び研修に関すること
- (4) 出土品の保存処理及び収蔵に関すること
- (5) 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行に関すること
- (6) 文化財の保護思想の普及に関すること
- (7) 前各号に定めるもののほか、岐阜県文化財保護センターの事業に関すること

事業体系図



組織図



2 事業実績

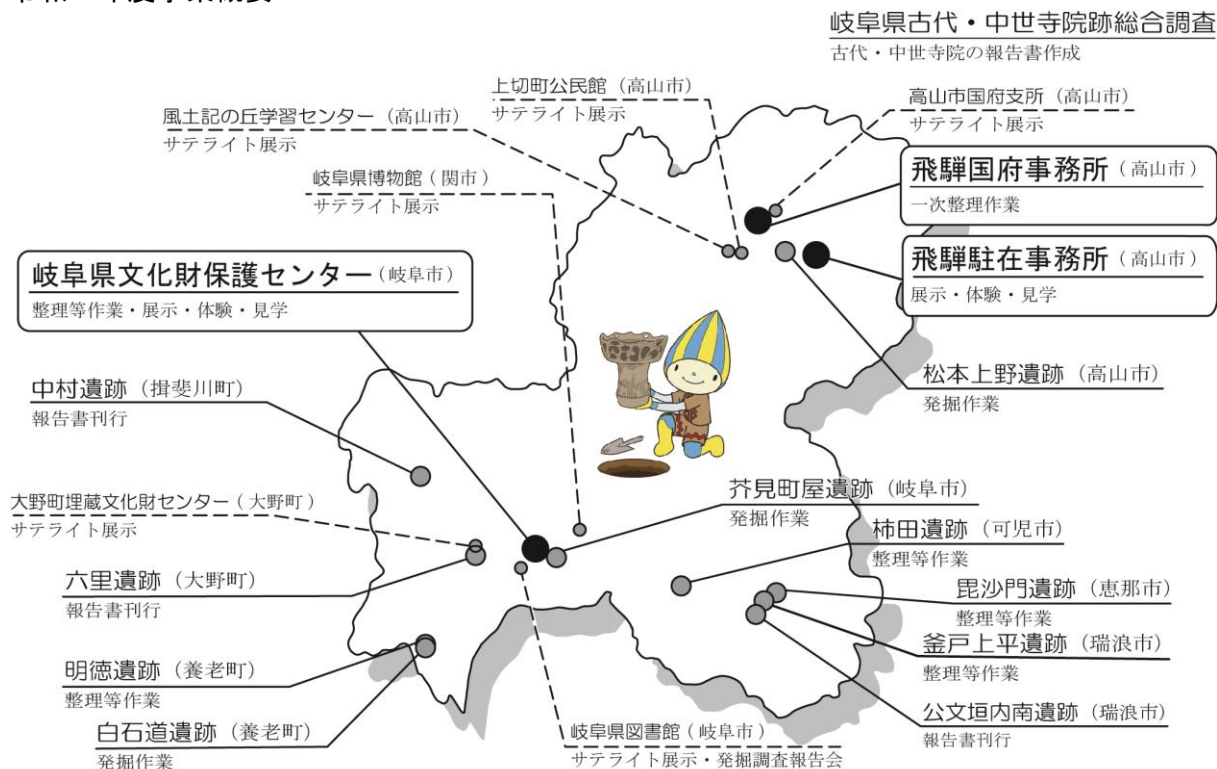
これまでの成果

発掘調査	調査遺跡数 199 遺跡（古墳群・古窯跡群は1遺跡として計上） 調査面積 730,992.4 m ² 発掘調査報告書 160 集
発掘調査報告会	平成5年度から毎年開催
タイムスリップ探検隊	平成4年度から毎年開催（令和元・3年度は中止）
発掘速報展	平成8年度から26年度まで開催（平成22年度から岐阜県博物館と共催）

【これまでの主な発掘調査事業】

調査原因	調査年度	主な遺跡
徳山ダム	H3～18	戸入村平遺跡(揖斐川町)、塚奥山遺跡(揖斐川町)
東海北陸自動車道	H3～9	西ヶ洞遺跡(郡上市)、勝更白山神社周辺遺跡(郡上市)
東海環状自動車道	H4～現在	柿田遺跡(可児市・御嵩町)、佐口遺跡(美濃加茂市)、 重竹遺跡(関市)、荒尾南遺跡(大垣市)、北方京水遺跡(大垣市)、 上保本郷遺跡(本巣市)、洞第2古墳群(岐阜市)
中部縦貫自動車道	H13～現在	上岩野遺跡(高山市)、赤保木遺跡(高山市)、野内遺跡(高山市)、 上切寺尾古墳群(高山市)、中切上野遺跡(高山市)
丹生川ダム	H5～8	西田遺跡(高山市)、カクシクレ遺跡(高山市)
県工業団地造成 ・VRテクノジャパン ・ソフトピア ・関テクノハイランド	H5～8 H5～7 H8～11	船山北遺跡(各務原市)、船山北古墳群(各務原市) 今宿遺跡(大垣市) 砂行遺跡(関市)、深橋前遺跡(関市)、南青柳遺跡(関市)

令和4年度事業概要



3 発掘作業

あくたみ まちや

芥見町屋遺跡

所在地 岐阜市祇園地内
立地 自然堤防
事業名 令和4年度国道156号岐阜東B P建設事業
事業者名 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
調査期間 令和4年5月9日～令和4年12月8日
調査面積 2,275.3 m²
種別 散布地・集落跡
時代 古代、中世
主な遺構 竪穴建物、掘立柱建物、溝、土坑など
主な遺物 土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗など
調査概要

当遺跡は、長良川左岸の自然堤防上に立地する。令和3年度から本発掘調査を開始した。昨年度の調査では、弥生時代後期から古墳時代初頭、奈良時代から平安時代の竪穴建物を42軒、中世の土坑や井戸、近世の道路状遺構などを確認した。

今年度は2,275.3 m²の発掘調査を実施し、飛鳥時代から平安時代の竪穴建物45軒の他、溝や土坑などを確認した。また、今回の発掘区は遺跡の南側を流れる山田川に接する遺跡の南端に近く、南へ至るほど遺構や遺物が減少する状況を確認した。

今回検出した竪穴建物はカマドが認められないものが多く、明確にカマドが確認できた竪穴建物は奈良時代以前の比較的古いものが多い。平安時代の竪穴建物でカマドを確認できたのは1基のみであったが、このカマドは残存状況が良好で、火床や燃焼室、屋外へ延びる煙道を確認した。

なお、今年度の調査では昨年度確認した弥生時代後期から古墳時代初頭の集落跡に関連する遺構・遺物が少なく、当該地の土地利用の変遷を考える上で貴重な成果を得ることができた。

まつもとうわの

松本上野遺跡

所在地 高山市丹生川町新張地内
立地 丘陵
事業名 令和4年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業
事業者名 国土交通省中部地方整備局高山国道事務所
調査期間 令和4年5月19日～令和4年9月12日
調査面積 1,266.0 m²
種別 集落跡
時代 縄文時代
主な遺構 柵、土坑



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「岐阜北部」に一部加筆



芥見町屋遺跡 発掘区全景



芥見町屋遺跡 竪穴建物カマド完掘状況



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「町方」に一部加筆

主な遺物 縄文土器、須恵器、陶器など

調査概要

当遺跡は、高山市中心部の北東に位置する「上野平（うわのだいら）」と呼ばれる台地上に立地し、独立した尾根の北西端に位置する。遺跡周辺は昭和28年に用水が完成し開墾が進み、昭和61年度以降の圃場整備により大きく改変を受けたが、過去に縄文土器や石器の散布が確認された縄文時代の周知の遺跡である。平成25～27年度及び令和3年度に県教育委員会社会教育文化課、県文化伝承課が実施した試掘・確認調査では、縄文時代と考えられる遺構・遺物を確認した。

今年度は、1,266㎡の本発掘調査を実施し、柵や土坑を確認した。柵は出土遺物がないため時期が不明であるが、土坑は縄文土器や石器が出土していることから、縄文時代の土坑と考えられる。また、下呂石の製品や剥片が出土した土坑があり、ここで石器製作をしていたと考えられる。上野平の丘陵西部の発掘調査は初めてであり、遺跡の時期や性格を知る上で貴重な資料といえる。



松本上野遺跡 発掘区全景



松本上野遺跡 土坑群

しらいしみち

白石道遺跡

所在地 養老町鷺巣地内
立地 山地東麓の緩斜面
事業名 令和4年度公共社会資本整備総合交付金事業
事業者名 岐阜県大垣土木事務所
調査期間 令和4年5月12日～令和4年8月4日
調査面積 676.1㎡
種別 散布地
時代 古代（奈良）、中世
主な遺構 竪穴建物、土坑、溝
主な遺物 土師器、須恵器など

調査概要

当遺跡は、養老郡養老町鷺巣に所在し、養老山地東麓に広がる緩斜面端部に立地する。令和3年度に県文化伝承課が実施した試掘・確認調査では、古代の遺物とともに竪穴建物を確認した。

今年度の調査の結果、竪穴建物6棟や土坑などを確認し、土師器の甕や甑などの煮沸具、須恵器の坏や盤などの供膳具が出土した。そのほとんどが8世紀前半に属すると考えられ、発掘区の近辺に短期的な集落が存在していた可能性がある。養老町は元正天皇による行幸（717年、718年）と養老改元（717年）、聖武天皇による行幸（740年）の舞台とされており、同時期の遺跡と判明したことは当該地域の歴史を考える上で重要である。



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「美濃加茂」に一部加筆



白石道遺跡 発掘区全景



白石道遺跡 竪穴建物

4 整理等作業

<p>かまどうえだいら 釜戸上平遺跡</p> <p>所在地 瑞浪市釜戸町地内 事業名[事業者名] 令和4年度国道19号瑞浪恵那道路事業 〔国土交通省中部地方整備局多治見砂防 国道事務所〕 整理面積/調査面積 1,436.3㎡/1,436.3㎡ 発掘調査期間 令和3年5月6日～令和3年10月30日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代から中世の複合遺跡である。令和3年度に本発掘調査を実施し、縄文時代の竪穴建物や土坑、古墳時代から中世の土坑、時期不明の掘立柱建物や柵跡を検出した。</p> <p>今年度は、出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、挿図・写真図版作成作業、報告書原稿作成作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、縄文時代早期以降断続的に土地利用がされ、縄文時代中期後葉には、集落が営まれていたことが判明したが、今回の発掘区は集落域の北端部に位置すると思われる。出土した遺物は、縄文時代中期の土器や石器が主体である。</p>
<p>主な遺構</p> <ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代 竪穴建物、土坑墓、土坑 ○古墳～古代 土坑 ○中世 土坑 	<p>主な遺物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○縄文土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、石器、金属製品など
<p>ひしゃもん 毘沙門遺跡</p> <p>所在地 恵那市武並町地内 事業名[事業者名] 令和4年度国道19号瑞浪恵那道路事業 〔国土交通省中部地方整備局多治見砂防 国道事務所〕 整理面積/調査面積 751.7㎡/751.7㎡ 発掘調査期間 令和3年5月6日～令和3年12月7日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代から中世の複合遺跡である。令和3年度に本発掘調査を実施し、縄文時代前期の土器埋設遺構や土坑などを検出した。</p> <p>今年度は、出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、挿図・写真図版作成作業、報告書原稿作成作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、縄文時代前期後葉に土器埋設遺構や土坑などの祭祀若しくは墓としての機能が想定される遺構群であることが判明した。県内において、縄文時代前期の土器埋設遺構が確認されているのは、東濃地方東部だけであり、岐阜県南東部における縄文時代前期後葉の特色を示すものと思われる。</p> <p>数量は少ないが、古代から近世の遺物も出土しており、それらの時期にもこの地での活動痕跡が認められた。</p>
<p>主な遺構</p> <ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代 土器埋設遺構、土坑、溝状遺構 	<p>主な遺物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○縄文土器、土師器、須恵器、山茶碗、石器、金属製品など
<p>かきだ 柿田遺跡</p> <p>所在地 可児市柿田 事業名[事業者名] 令和4年度東海環状自動車道土岐JCT～美濃加茂IC間付加車線設置事業〔中日本高速道路株式会社名古屋支社岐阜工事事務所〕 整理面積/調査面積 1,260.5㎡/1,260.5㎡ 発掘調査期間 令和3年5月10日～令和3年12月3日</p>	<p>当遺跡は、弥生時代から近世にかけての複合遺跡である。令和3年度にC16地点からC19地点の本発掘調査を実施し、溝や自然流路を中心に、古墳時代から近世にかけての遺構を確認した。</p> <p>今年度は出土遺物の分類作業、接合作業、補強・復元作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構や出土遺物の挿図・写真図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、出土遺物の中心は8世紀初頭と中世前期のもので、官衙や祭祀に関わる遺物、墨書土器、在地産の遺物が多数含まれていることが判明した。</p>
<p>主な遺構</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古墳時代 溝、自然流路 ○古代 自然流路 ○中世 掘立柱建物、溝、土坑、自然流路 ○近世 溝 	<p>主な遺物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、中近世陶磁器、木製品など
<p>みょうとく 明德遺跡</p> <p>所在地 養老郡養老町石畑・鷺巣地内 事業名[事業者名] 令和4年度公共社会資本整備総合交付金事業〔岐阜県大垣土木事務所〕 整理面積/調査面積 2,267.1㎡/2,267.1㎡ 発掘調査期間 令和2年5月11日～令和2年12月4日 令和3年5月6日～令和3年8月5日</p>	<p>当遺跡は、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡である。令和2・3年度に本発掘調査を実施し、弥生時代後期から末期の掘立柱建物、柵、古墳時代初頭から前期の竪穴建物、掘立柱建物、柵、溝、土坑などを確認した。今年度は出土遺物の接合作業、補強・復元作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構や出土遺物の挿図・写真図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、弥生時代後期から古墳時代前期までの時期に集落が展開することを確認した。出土した土師器の様相から、三重県伊勢地方と繋がりが深いことが判明した。また、土師器のうち、赤彩が施されない特徴的な加飾壺は、柳ヶ坪型壺の祖形となるものであることが判明した。</p>
<p>主な遺構</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弥生時代 掘立柱建物、柵 ○古墳時代 竪穴建物、掘立柱建物、柵、溝、土坑 	<p>主な遺物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石器・石製品、金属製品など



釜戸上平遺跡 土器実測作業風景



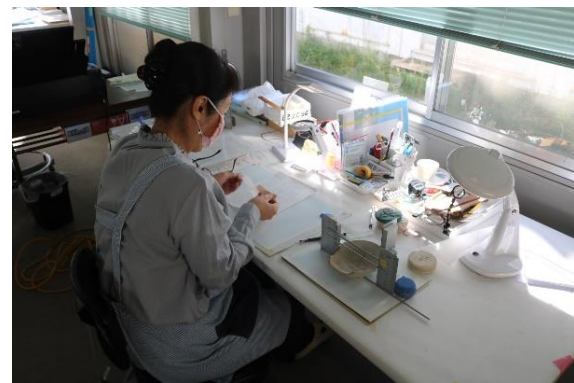
釜戸上平遺跡 土器接合作業風景



毘沙門遺跡 出土遺物



毘沙門遺跡 土器接合作業風景



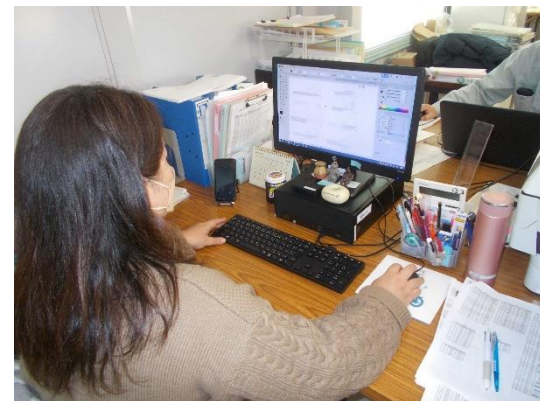
柿田遺跡 遺物実測作業風景



柿田遺跡 出土遺物



明德遺跡 出土遺物



明德遺跡 挿図作成作業風景

5 発掘調査報告書

報告書名	事業名[事業者名]	発行年月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第158集 ろくり 六里遺跡Ⅲ	令和4年度県単道路新設改良事業（主）岐阜県南大野線 下磯～麻生工区 [岐阜県揖斐土木事務所]	令和5年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第159集 くもがいとみなみ 公文垣内南遺跡	令和4年度国道19号瑞浪恵那道路事業 [国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所]	令和5年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第160集 なかむら 中村遺跡	令和4年度奥ノ洞砂防堰堤工群及びバンタ川第1砂防堰 堤建設事業 [国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所]	令和5年3月

6 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査

各年度における調査対象市町村

調査年度	調査対象市町村（市町村コード順）
平成30年度	大垣市・関ヶ原町・揖斐川町
令和元年度	山県市・瑞穂市・本巣市・下呂市・海津市・養老町・垂井町・神戸町・ 輪之内町・安八町・大野町・池田町
令和2年度	岐阜市・高山市・瑞浪市・土岐市・飛騨市・郡上市・岐南町・坂祝町・ 川辺町・七宗町・白川町・白川村
令和3年度	多治見市・関市・中津川市・美濃市・羽島市・恵那市・美濃加茂市・ 各務原市・可児市・笠松町・北方町・富加町・八百津町・東白川村・御嵩町

事業名 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査

事業主体 岐阜県文化財保護センター

種別 社寺跡

時代 古代、中世

調査概要

平成30年度から、県内の古代から中世にかけての寺院を悉皆的に調査する岐阜県古代・中世寺院跡総合調査を開始した。令和3年度までに現地での調査を終了し、今年度は検討委員会の指導・助言を得て報告書の作成と編集を行った。報告書は令和5年3月に刊行した。

5年間の調査で、近世以降成立の寺院を含めた3,464か寺のうち、古代・中世寺院を1,918か寺確認し、127か所の地形観察図を作成した。また、龍溪寺跡（中津川市）、寿楽寺廃寺跡（飛騨市）の内容確認調査、横蔵寺旧境内（揖斐川町）の地形測量・遺物分布調査を行った。これらの調査から、寺院の分布・立地の特徴や変遷、寺域の空間構造、各宗派の消長、圏域ごとの特徴を明らかにすることができた。



令和4年度第1回検討委員会の様子

7 普及活用事業

1 教育普及 (1) 出前授業

学校	内容	期日	参加人数
郡上市立口明方小学校6年生	縄文時代や弥生時代などのくらしについて学び、当時の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	5月16日(月)	1クラス22人
大垣市立北小学校6年生	土器などの実物から当時の人々の生活を考える学習を通して、歴史学習に対する興味・関心を高める	5月18日(水)	4クラス125人
白川町立白川小学校6年生	校区内の遺跡見学に関わらせ、専門家からの講義を受講することで、縄文時代の人々の生活や当時使われていた土器や石器についての理解を深める	6月3日(金)	1クラス13人
揖斐川町立揖斐川中学校1年生	遺物に触れる活動を通して歴史学習への関心を深める。また、地域の遺跡で出土した遺物に触れることのできるさとの誇りや愛着を深める	6月6日(月)	3クラス84人
垂井町立東小学校6年生	地域の遺跡から出土した土器や石器を観察し、その特徴から用途を考えることで、当時の人々のくらしに関わる工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月8日(水)	2クラス64人
岐阜市立岩野田小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器を比べることを通じて時代の変化に気づき、歴史学習への意欲を高める	6月10日(金)	2クラス74人
垂井町立東小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器の比較を通して、弥生時代の人々の生活様式と土器の様式の変化が関係していることを知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月13日(月)	2クラス64人
郡上市立高鷲小学校6年生	縄文時代の石器を観察し、それらの特徴から用途を考えることで、当時の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月15日(水)	1クラス16人
各務原市立川島小学校6年生	縄文土器と弥生土器を比較し、それぞれの土器の特徴やその変化について気づくことで、弥生時代の人々の生活様式と土器の様式の変化が関係していることを知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月17日(金)	4クラス131人
可見市御嵩町中学校組合立共和中学校1年生	縄文時代の石器を観察し、それらの特徴から用途を考えることで、当時の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月20日(月)	2クラス44人
輪之内町立福東小学校6年生	古代の人々が生活するために道具を工夫して作ったことに関心をもち、歴史学習に意欲をもって取り組む	6月22日(水)	1クラス23人
大野町立西小学校6年生	地域の遺跡から出土した弥生土器と須臾器を比較したり古墳からの出土品を観察したりすることでその特徴をつかみ、土器製作技術の変化や大きな力をもつ人物の存在という視点から時代の移り変わりに気づき、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月24日(金)	1クラス21人
大垣市立上石津中学校1年生	縄文時代のくらしについて、地域の遺跡から出土した遺物を観察し、その特徴から用途を考えることで、当時の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月27日(月)	1クラス32人
郡上市立明宝小学校6年生	縄文時代から古墳時代の土器を見て、土器の変化とともに生活が変化していったことに気づく。また、地域の遺跡の発掘調査から中央とのつながりがわかり、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月29日(水)	1クラス11人
川辺町立川辺東小学校6年生	実物の歴史資料に触れたり講師の話の聞いたりすることを通して、歴史に関する興味・関心を高めるとともに、歴史学習の理解を深める	7月1日(金)	1クラス22人
郡上市立川合小学校6年生	縄文土器や石器に触れ、縄文時代のくらしについて考える	7月4日(月)	1クラス9人
大垣市立墨俣小学校6年生	縄文時代と弥生時代の出土品を観察する活動を通して、それぞれの時代の人々の生活に興味をもつ	7月6日(水)	2クラス47人
岐阜市立日野小学校6年生	実際の土器や石器に触れたり、話を聞いたりすることを通して、縄文時代の人々のくらしについて、体験を伴った理解と歴史への興味・関心を高める	7月6日(水)	3クラス86人
岐阜県立海津明誠高等学校2年生	縄文時代から中世までの土器を観察し、それぞれの特徴をとらえる活動を通して、日本史の興味・関心を高めるとともに、理解を深める	7月8日(金)	3クラス60人
本巣市立土貴野小学校6年生	縄文時代から古墳時代の土器を観察し、それぞれの特徴をとらえる活動を通して、歴史学習や郷土の歴史への興味・関心をもつ	7月11日(月)	1クラス25人
池田町立温知小学校6年生	縄文時代から古墳時代の土器の観察を通して、時代の特徴や違いを理解する	7月15日(金)	3クラス85人
郡上市立白鳥小学校6年生	縄文時代から古墳時代の土器の観察を通して、その時代のくらしや様子を考察する	9月2日(金)	1クラス40人
高山市立南小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器に触れる体験を通して、学習の定着を図る	9月9日(金)	2クラス58人
郡上市立相生小学校6年生	縄文時代から中世までの土器を観察し、それぞれの特徴をとらえる活動を通して、土器製作技術の変化やそれに関わる人々の工夫に気づき、歴史学習や郷土の歴史への興味・関心をもつ	9月9日(金)	1クラス20人
高山市立清見小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器に触れることで、その頃の様子についてさらに思いを深める	9月12日(月)	1クラス19人
高山市立東小学校6年生	社会科の歴史学習と飛騨地方の歴史をつないで学習することで、自分たちの地域にはどのような歴史があるのか関心を高め、理解を深める	9月14日(水)	2クラス66人
御嵩町立上之郷中学校1年生	縄文時代から平安時代までの4種類の土器の新旧を考える活動を通して、土器製作技術の移り変わりから時代の変化に気づく	9月14日(水)	1クラス10人
岐阜県立不破高等学校3年生	縄文時代から中世までの土器を観察し、それぞれの特徴をとらえる活動を通して、西美濃の古代史に親しむ	9月21日(水)	1クラス31人
郡上市立高鷲北小学校6年生	縄文時代から中世までの土器を観察し、それぞれの特徴をとらえる活動を通して、土器製作技術の変化やそれに関わる人々の工夫に気づき、歴史学習や郷土の歴史への興味・関心をもつ	9月26日(月)	1クラス14人
恵那市立串原中学校2年生	縄文時代から中世までの土器を見ることによって、学習内容の定着を図る	10月12日(水)	1クラス3人
恵那市立串原小学校5・6年生		10月12日(水)	1クラス11人
岐阜県立益田清風高等学校2年生	「地域研究」の一環として、考古学的な視点から飛騨地域の魅力を再発見する	10月17日(月)	1クラス31人
郡上市立八幡小学校6年生	出土した土器を見たり触れたりする体験を通して、歴史学習への興味・関心をもち、理解を深める	10月19日(水)	1クラス33人
岐阜市立島中学校1年生	文化財保護に関わる仕の内容について理解するとともに、講師の生き方を学ぶことを通して、生徒自身が将来について考え、自己の生き方を見つめる(キャリアスクール)	11月5日(土)	2クラス60人
土岐市立濃南小学校6年生・中学校1年生	縄文時代から中世の遺物に実際に触れてみることで、それらの特徴や使われた時代背景を学ぶ	11月25日(金)	2クラス27人
池田町立宮地小学校6年生	縄文時代から中世の土器を観察しそれぞれの特徴をとらえる活動を通して、今後の地域の歴史学習につなげる	12月9日(金)	1クラス13人
美濃加茂市富加町中学校組合立双葉中学校1年生	縄文時代から中世までの遺物に触れることで、学習内容の定着を図る	12月15日(木)	4クラス115人
養老町立広幡小学校6年生	埋蔵文化財発掘調査の仕事内容ややりがいについて話を聞き、職業観を養ったり、埋蔵文化財を保護する重要性を理解したりする	2月3日(金)	1クラス13人

延べ38校64クラス1,622名(美濃地域34校、飛騨地域4校)

(2) 講師派遣

派遣先	内容	期日	参加人数
町屋自治会	「芥見町屋遺跡の発掘調査について」	10月15日(土)	24人
美濃加茂生き生きふれあいサロン	「近隣の発掘調査について(梅替古墳)」	11月8日(火)	18人
北方町教育委員会	「近隣の発掘調査について(正傳寺跡)」	12月9日(金)	30人
大垣市	「市内の発掘調査について(北方京水遺跡、国分寺遺跡)」	3月4日(土)	30人

(3) 総合教育センター研修(埋蔵文化財活用講座)

対象	内容	期日	参加人数
小中高등학교及び特別支援学校の教員	遺跡から出土した実物の土器・石器、発掘調査の成果などを、授業で活かす具体的な方法を紹介するとともに、実際に土器や石器に触れる活動を通して、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを体験し、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る	11月1日(火)	19人

(4) バックヤードツアー

対象	内容	期日	参加人数
小学生以上の方	文化財保護センターの施設や業務及び所蔵する埋蔵文化財を見学したり、業務(整理等作業)を体験する	8月17日(水)	22人

(5) タイムスリップ探検隊

対象	内容	期日	参加人数
小学生以上の方	小学校5・6年生とその保護者を対象に発掘体験及び整理体験を通して、埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに文化財保護思想の普及をはかる	7月26日(火)	14人

(6) 見学・体験の受け入れ

見学者	内容	期日	参加人数
高山市立丹生川中学校1年生	丹生川町内の遺跡の説明、発掘された遺物の見学(総合的な学習)	5月20日(金)	42人
養老町立上多度小学校3年生	白石道遺跡発掘調査の説明(総合的な学習)	7月13日(水)	25人
高山市立西小学校教諭	松本上野遺跡発掘体験及びセンターの業務説明(中堅教諭等資質向上研修)	7月21日(木)	1名

2 生涯学習

(1) 発掘調査報告会

遺跡名	発表者(所属)	会場	期日	参加人数
坊の塚古墳(各務原市)	西村 勝広氏(各務原市教育委員会)	岐阜県図書館(岐阜市)	10月22日(土)	78人
小洞古墳群(関市)	日置 真穂(当センター職員)			
古町遺跡(関市)	伊藤 聡氏(関市文化財保護センター)			

(2) 現地公開・見学会

遺跡名	内容	期日	参加人数
白石道遺跡現地見学会(養老町)	発掘現場を公開し、遺跡の見学、遺跡概要の説明及び遺物の展示・紹介を行う	7月23日(土)	34人
芥見町屋遺跡現地見学会(岐阜市)		11月26日(土)	118人

3 啓発

(1) 展示

名称	展示内容	会場	開催期間
サテライト展示	高山市上切町サテライト展示 「上切町の歴史 弥生時代後期から古墳時代初頭の墳墓群 ～上切寺尾古墳群～」	上切町公民館(高山市)	4月13日(水)～次年度
	岐阜県博物館サテライト展示 上保本郷遺跡、東野遺跡、芥見町屋遺跡	岐阜県博物館(関市)	4月25日(月)～次年度(3回展示替え)
	ひだ地域サテライト展示 三枝城跡(高山市教育委員会共催)	高山市風土記の丘学習センター	7月21日(木)～8月24日(水)
	大野町サテライト展示 六里遺跡	大野町埋蔵文化財センター(揖斐郡大野町)	8月2日(火)～9月29日(木)
	高山市国府町サテライト展示 荒城神社遺跡(高山市教育委員会共催)	高山市国府支所(高山市)	9月1日(木)～11月30日(水)
	岐阜県図書館サテライト展示 「岐阜県文化財保護センター収蔵品展 中濃の遺跡Ⅰ ～可児市柿田遺跡～」	岐阜県図書館(岐阜市)	1月28日(土)～3月12日(日)
本館展示	上開田村平遺跡、中村遺跡、公文垣内南遺跡、南青柳遺跡、今渡遺跡、金ヶ崎遺跡、大平遺跡、上保本郷遺跡の出土遺物、解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター(岐阜市)	年間を通して展示(1回展示替え)
飛騨駐在事務所展示	日焼遺跡、随縁寺裏B地点遺跡Ⅱの出土遺物・解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター飛騨駐在事務所(高山市)	年間を通して展示(1回展示替え)

(2) ホームページ

内容	URL	更新
センター調査だよりや考古学コラム「きずな」等による発掘調査事業の情報提供、現地見学会などの各種イベントの案内及び報告、保管資料の活用や出前授業に関する情報を掲載	https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/21807/	随時

(3) 県有文化施設デジタル推進事業

内容	実績
コロナ禍での文化財活用促進のため、所蔵する埋蔵文化財をデジタル化して公開するとともに遺物のレプリカを作成する	レプリカ作成点数：3点（戸入村平遺跡出土縄文土器、荒尾南遺跡出土弥生土器及び銅鏡）

(4) 年報

内容	刊行
毎年度の発掘調査事業、普及活用事業及び研究・支援事業を年報として記録するとともに、関係機関へ配布し、ホームページに掲載	令和3年度の『年報22』は、令和4年3月31日に刊行及びホームページに掲載

8 研究・支援事業

(1) 出土品等の貸出

内容	実績
公共機関等からの要請に基づき、出土品や関係資料を貸し出すことにより、その活用を図る	出土品の貸出：14件 出土品の調査等：9件 写真資料等の貸出：18件 (3月10日現在)

(2) 報告書・図書等の保管

蔵書数	受け入れ登録数
発掘調査報告書56,335冊、その他の図書17,304冊、野村文庫6,660冊	発掘調査報告書1,040冊・その他の図書386冊(3月10日現在)

(3) 研究紀要

目的	掲載内容
当センターの所掌事務である「埋蔵文化財の研究」、「埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行」（岐阜県公立学校以外の教育機関の設置に関する規則第二条第一項第一号及び第五号）の業務について、「研究紀要」を作成することで成果を広く県民に還元し、本県文化の振興に寄与する。	『岐阜県文化財保護センター研究紀要』第7号(センターホームページに掲載) ・磯貝龍志、日置真穂、小野木学「揖斐郡揖斐川町大貴山長国寺境内の石塔・石仏について」

9 普及活用事業の記録



出前授業



総合教育センター研修



講師派遣



バックヤードツアー



発掘調査報告会



現地公開・見学会



令和4年度年報

岐阜県文化財保護センター年報 23

令和5年3月31日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1

TEL 058-237-8550 FAX 058-237-8551

E-mail : c21807@pref.gifu.lg.jp

URL <https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/21807/>